

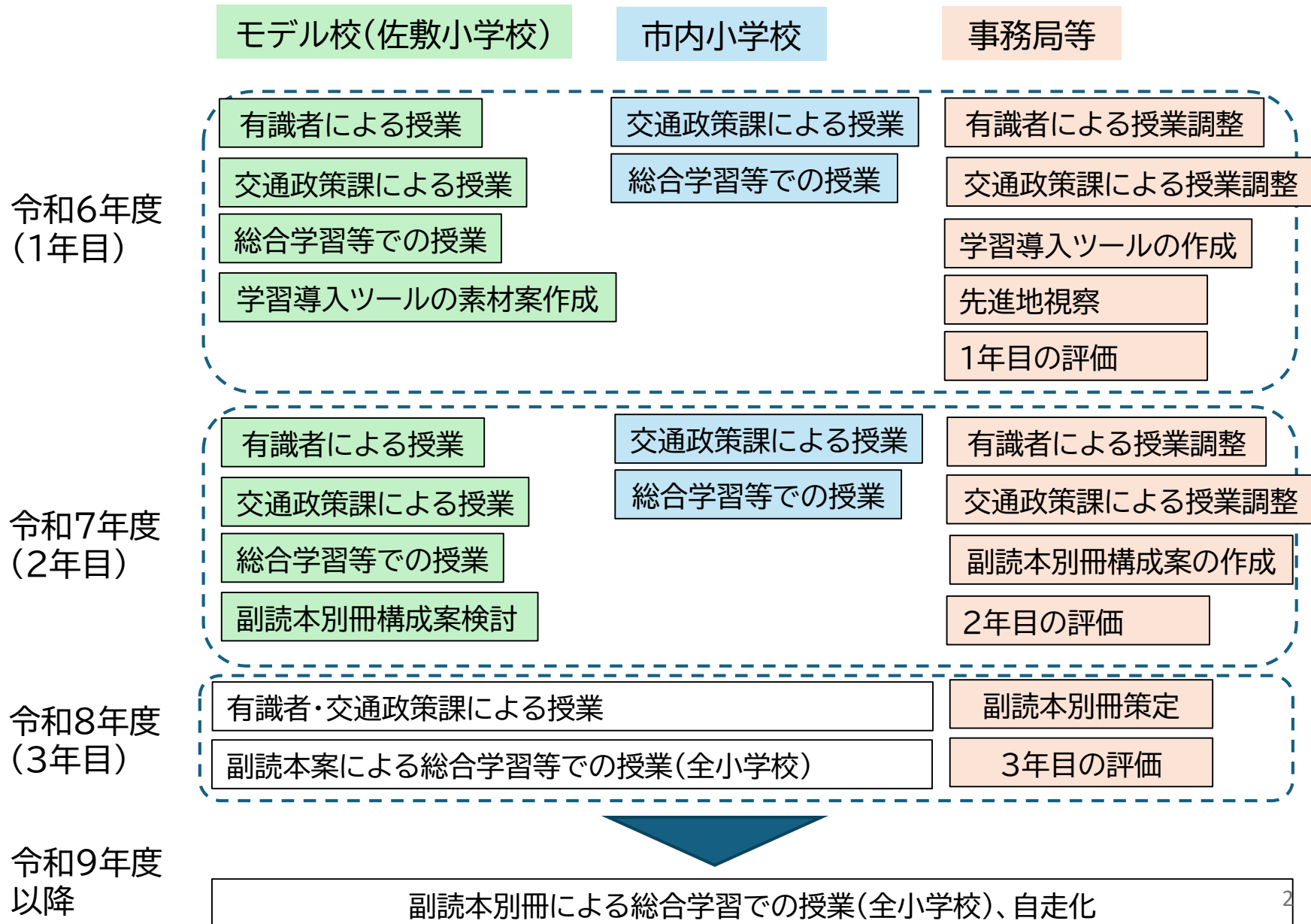


ハートのまち南城市へようこそ！

令和6年度 南城市モビリティ・マネジメント教育実施報告

南城市モビリティ・マネジメント教育推進委員会
令和7年5月20日

1.事業実施の流れ



2.令和6年度の実施内容

2-1 令和6年度の実施内容の概要

今年度は、モデル校の佐敷小学校を中心に、有識者による授業や乗車体験、ツール作成などの取組が実施されました。また、事務局においては先進地視察を行っています。

区分	取組名	取組概要
モデル校 (佐敷小学校)	有識者による授業	名桜大学特任教授の寺本氏、バスマップ沖縄主宰谷田貝氏による授業を実施
	市交通政策課による授業	南城市交通政策課による授業を実施
	乗車体験	児童たちが考えた行程で、乗車体験を実施。 おきなわワールド等訪問
	ツール作成	利用促進につながるツールとして、缶バッジや、トラ ンプ、かるた、絵本、替え歌等を作成
	Nバス車内の飾りつけ	地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、クリスマスのNバス車内の飾りつけを実施
市内小学校 (知念小学校)	市交通政策課による授業	南城市交通政策課による授業を実施
	乗車体験	児童たちが考えた行程で、乗車体験を実施。 美らいちご等訪問
	Nバス車内の飾りつけ	地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、バレンタインデーのNバス車内の飾りつけを実施
事務局	先進地視察	MM教育の先進地である札幌市を視察

2.令和6年度の実施内容

2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

①有識者による授業(谷田貝氏)

バスマップ沖縄主宰の谷田貝氏より、質問への回答という形式で、バス車両の大きさの違いや、利用目的の違いなどについて紹介していただき、その後、Nバスとそれ以外のバスの違いについて考えてもらう授業が行われました。

疑問への回答

Nバスは **小さめ**



…そんなにたくさんお客さんがいるわけではない

おまけ：佐敷小学区を走る市外線



36番
南城市役所～
糸満バスターミナル

南城市と糸満市を
つなぐ、
唯一の路線

本数はとても少ない

▲授業資料



▲授業風景

2.令和6年度の実施内容

2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

①有識者による授業(寺本氏)

名桜大学特任教授の寺本氏による、南城市の地域資源であるNバスについて、児童やその家族の利用促進に向けて、多角的な視点から気づきを生みだすことを目的に授業が実施されました。
沖縄県地元紙(沖縄タイムス社2025年1月30日)に授業風景が掲載されました。

特別授業「モビリティ・マネジメント出前授業・指導案」

2025年1月10日、南城市佐敷小6年1組 授業者 寺本 浩

1 趣旨 沖縄本島に住む人々の暮らしに自家用車利用が占める比重は大きい。ゆいレール以外に鉄軌道が無いのも一因であるが、公共バスにおいては県民の3%しか利用していない実態もある。また、沖縄を訪れる年間1000万人の観光客も団体旅行を除けばレンタカー移動が常態化し、その分タクシー業や路線バス利用を圧迫している。渋滞の悪化や車走行による自然への負荷、駐車場不足等、課題は山積している。一方、交通弱者にとって「移動手段がなく、家族や知人の送迎を頼むしかない(67%)」との南城市の調査結果も出ている。これからの「スマートに人々が移動できる暮らしの実現」に向けて、車ばかりに依存する暮らしから、公共バス(オンデマンド交通も含む)や自転車、将来那覇地区に設置が期待されるライトレール等、多様な移動手段を選択・活用する暮らしへの転換が必要の時代となっている。このため、本授業では、よりエコロジカルな乗り物である公共バス(Nバス)の利用を児童やその家族に促すことを目的に、多角的な視点から気づきを生み出すことをねらいとしている。現在、Nバス運行は、平日70便、休日55便にのぼり、南城市民の足として利活用が順調に進捗しつつある。この背景には、美しいラッピングを施したNバス8台の購入に2億数千万円をかけ、新市役所内に待合室を設け、現在は在籍していないがバス利用を促すコンシェルジュも常駐するなど、先進的な取り組みが成果をあげている点も挙げられよう。いわばスタートアップに成功したと言える。現在は、月平均1万8千人前後が利用し、順調に市民の足となりつつある。この傾向をさらに伸ばし、名実ともに市民の日常の移動手段として定着させるためには、学校教育も関与しつつ、市民の公共交通への意識をさらに醸成することが求められる。モビリティ・マネジメント教育は、その中核となる公教育と言える。

2 本時の目標

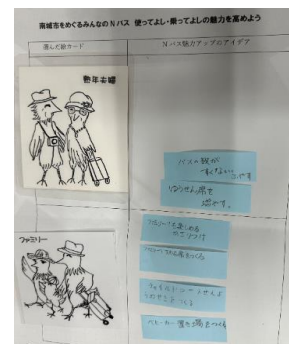
多様な属性を持った利用者の乗り物として公共バスの役割を認識し、より魅力を感じてもらうにはどのような手立てが必要か、アイデアを出し合い、自分たち小学生でもできる利活用促進の提案を仲間と学びあいによって立案することができる。

3 指導案

	学習活動	指導上の留意点
導入	1 「使ってよし・乗ってよしのバス利用を考えよう」という授業の目当てについて意見を述べ合う。	・目的地にいく移動手段としての「使ってよし」とNバスそのものの魅力を見出す「乗ってよし」の意味を類推するよう促す。
展開	2 熟年・ハネムーン・ビジネスママ・学生・ファミリーの絵カードを班で認識し、Nバス利用者としてもっと増やす対象を2つ選び、その利用促進策を考え合う。	・絵カードに描かれた利用者の特性を予想しよう(例: 熟年夫婦は足腰が弱いので前の座席を勧めよう。孫の世代が好きなので私たちの声を届けよう。)
まとめ	3 選んだ利用者がもっとNバスを利用しやすいようにするための方法を出	・費用のかかる自家用車を購入してしまうことで移動手段として車ばかりを使っ

メリット・デメリット自家用車と公共バス(Nバス)の10の利用比較

比較の視点	自家用車利用	公共(路線)バス利用
費用	自家用車の購入や維持費・車検に多額の費用がかかる。	1 回当たりの費用(料金)がかなり少なくて済む。定期券もある。
飲酒	飲酒運転になるため絶対に飲めない。	運転者でないので飲酒後も乗車できる。
渋滞	多数の車両が道路を使用し渋滞が発生しやすい。	大人数の移動に便利のため、走る車を減らせ渋滞も少なくなる。
駐車場	車両の台数分必要になる。	バスがとまるスペースだけで可。
排気ガスCO2	電気自動車を除き、車両の台数分排気ガス・CO2が出される。	燃料電池バス以外は排気ガス・CO2を少しは出す。
座席シートからの視野	座席が低いと、沿線に塀や並木などがあると景色を見ることができない。	座席が高いため、塀や並木越しでも沿線の景色を車窓から眺めることができる。
交通事故	交通事故を起こす確率がバスより高い。	交通事故を起こす確率は自家用車より格段に低い。
利便性	好きな時間に自分の興味ある場所へ移動できる。	運行時間に限られバス路線沿いにしか移動できない。
会話	車内で同乗者とは会話できる。好きな音楽を楽しめる。	乗り合わせた客同士(市民や観光客)で挨拶や会話が楽しめる。
快適さ	雨や陽射し強い日でもエアコンの効いた車内で快適に過ごせる。	バス待ちの時間、雨や陽射し強い場合、バス停でつらい場合がある。



2.令和6年度の実施内容

2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

②外部講師による授業(南城市交通政策課)

南城市交通政策課より、南城市内の公共交通の現状についての説明を受け、実践編として、Nバスマップを使い時刻と目的地を設定し、行き方について調べました。

1. 南城市の公共交通



公共交通の現状

【既存の公共交通】

- バス
 - ・路線バス、コミュニティバス (Nバス/R1年10月から運行)
- タクシー
 - ・大里タクシー、山一交通 市内全域
- デマンド交通
 - ・おでかけなんじい 市内全域
H25実証運行開始 H28本格運行
- 離島航路
 - ・久高海運 安座真港⇄久高港

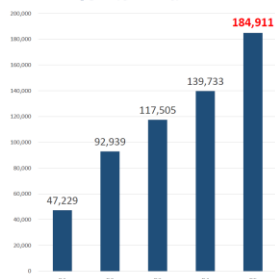
※赤字、下線は市が運営主体



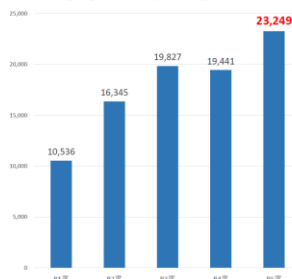
3. Nバスの利用状況



全体の利用者数推移



小学生の利用者数推移



4. モビリティ・マネジメント教育



モビリティマネジメント教育を通して、公共交通の理解を深めてもらうため、南城市交通政策課は、6年2組さんの乗ってみたい！知りたい！作りたい！を応援します！！

移動を楽しみ、みんなで乗り育てるNバスへ

5. Nバスマップの見方



実践編

Nバスマップで行きたい場所を調べてみよう！



2.令和6年度の実施内容

2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

③乗車体験

総合学習の時間を使って、児童が検討した乗車体験の企画にもとづき、①Nバスを通して南城市の魅力を発見する、②観光客の目線でNバスを利用して良さをみつけるの2つの目的のもと、おきなわワールドまでの体験乗車が実施されました。

令和6年度 Nバス乗車のしおり

佐敷小学校 6年2組

1.ねらい

- Nバスに乗って、南城市の魅力や良さを発見する。

2.日時

2024年11月14日（水）

3.目的地

農場御殿
〒901-0111 沖縄県南城市知念久手堅5-3-9

4.スケジュール

07:40	学校集合
08:30	出発準備
09:00	Nバス出発
09:15	農場御殿前 到着
09:25	農場御殿に入場
10:30	農場御殿から出る 持ち時間は各の場所へ
11:16	Nバス出発
11:32	学校 到着

5.服装

- 動きやすい服装
- 帽子
- 運動靴

※ナップザック学校です

6.持ち物

- ナップザック
- しおり、筆記用具、総合ノート、レインコート
- 水筒

7.農場御殿の約束

- 歩きながらスマートフォン・撮影機器等の操作、飲食および音聲放送、通話などをしていない
- 大声で騒ぐ、大声を出す、楽器の使用等し、他の来場者へ迷惑をかける
- 飲食物の持ち込みがない（ゴミ・持ち帰り）
- 香煙・煙草などの禁煙区域にたき火しない、また喫煙しない
- 喫煙・飲酒等禁止区域への侵入をしない

8.保護者へのお願い

- 服装をしっかりと見てきてください
- 体調不良の場合は無理せずお休みください
- 持ち物には名前を記入してください
- 十分な時間をとってください
- 集合は多めに2分前まで

Schedule

ナップザック学校
7時40分に児童玄関集合

07:54 出発
08:16 南城市役所前
08:37 南城市役所を出る（Nバス出発）
09:03 工場前到着

見学

12:49 出発
13:10 南城市役所前
14:11 南城市役所を出る（Nバス出発）
14:30 佐敷小学校前着

（人）

Memo

見学のしおり

佐敷小学校 6の2

日程

12月4日（水）

集合

佐敷小学校 7時40分 児童玄関前
※雨天決行（雨天時の場合は、通常通り授業）

行き先

おきなわワールド
住所：901-0616
沖縄県南城市玉城
字前川1336番地

目的

- Nバスを通して南城市の魅力を発見する
- 観光客の目線でNバスを利用して良さをみつける

服装

動きやすい服 はきなれた靴 ナップザック

持ち物

・水筒 ・帽子 ・筆記用具 ・弁当 ・総合ノート
・雨かっぱ ・敷物 ・タオル ・ゴミ袋 ・お菓子

その他

- 万が一中止の場合は、通常授業を行います。
- 当日欠席の場合は学校に連絡してください。

注意事項

- バスの中では大声を出さない、窓から頭や手を出さないこと
- 気分が悪くなったなら、乗車をせずに先生に知らせること
- 園内にいる一般の方へ迷惑をかけること
- 集合の合図があったら速やかに集まること
- 先生の指示に従わなかったり、勝手な行動を取った場合は保護者に連絡の上、帰宅となる場合があります。

▲乗車体験のしおり

2.令和6年度の実施内容

2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

③乗車体験



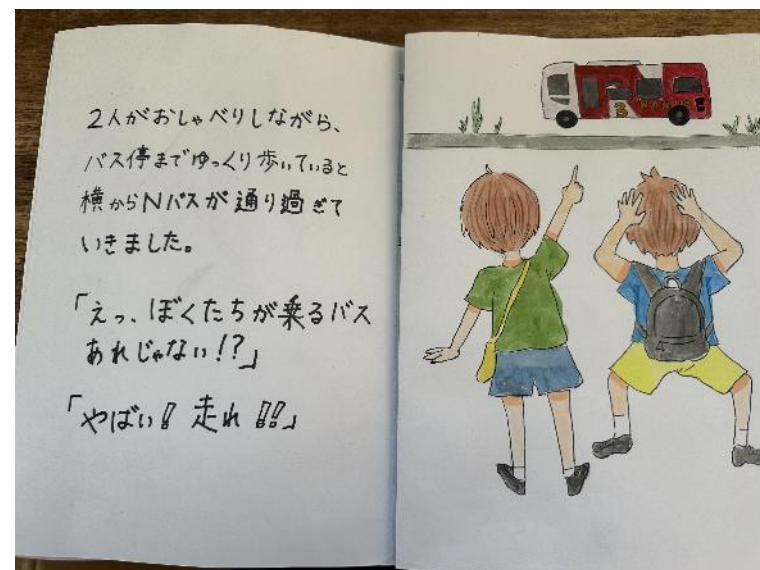
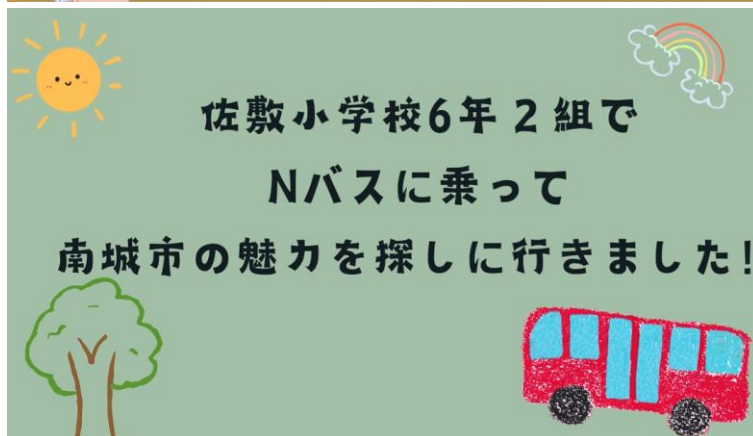
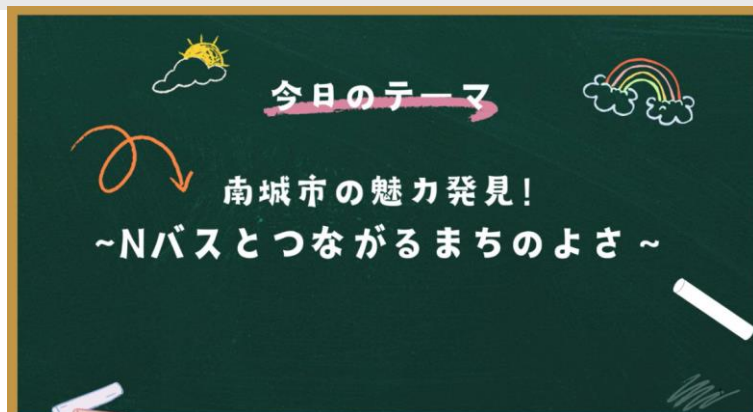
▲乗車体験の様子

2.令和6年度の実施内容

2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

④ツール作成

今年度の学びを活かし、Nバスの利用促進のためのツールとして、缶バッジや絵本、トランプ、かるた等が作成されました。

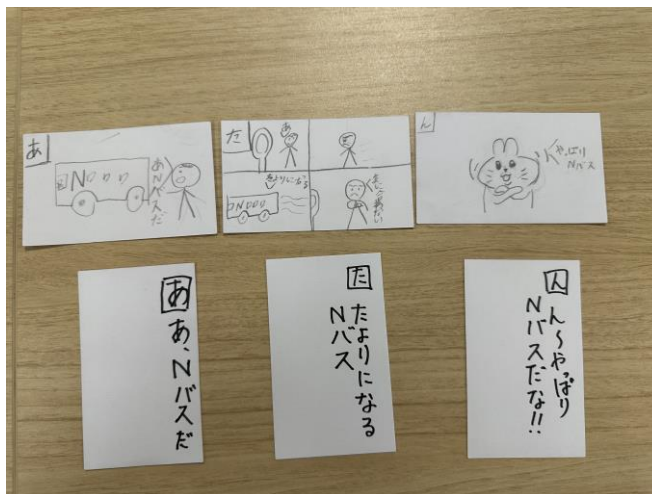


▲児童が作成した利用促進のためのツール

2.令和6年度の実施内容

2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

④ツール作成



▲児童が作成した利用促進ためのツール

2.令和6年度の実施内容

2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

⑤Nバス車内の飾りつけ(クリスマス企画)

地域バスへの愛着醸成、利用促進に向け、児童によるNバスの車内をクリスマス仕様に飾りつけを行いました。



▲飾りつけをしたNバス車両

2.令和6年度の実施内容

2-2 モデル校(佐敷小学校)における取組

⑥総合学習の授業

総合学習の時間などを使って、児童に自動車と公共交通のメリット・デメリットを考えてもらい、グループで話し合った結果をまとめてもらいました。

⑦学習発表会にて成果発表

MM教育で学んだこと、取り組んだことを成果として発表しました。



▲学習成果の発表状況



▲総合学習での検討材料

2-3 市内小学校(知念小学校)における取組

①外部講師による授業(南城市交通政策課)

南城市交通政策課より、南城市内の公共交通の現状についての説明を受け、実践編として、Nバスマップを使い時刻と目的地を設定し、行き方について調べました。



 **NANJO CITY**
南城市
Nanjo City Office

[illegible]

▲南城市交通政策課の授業資料



▲南城市交通政策課による授業風景

2.令和6年度の実施内容

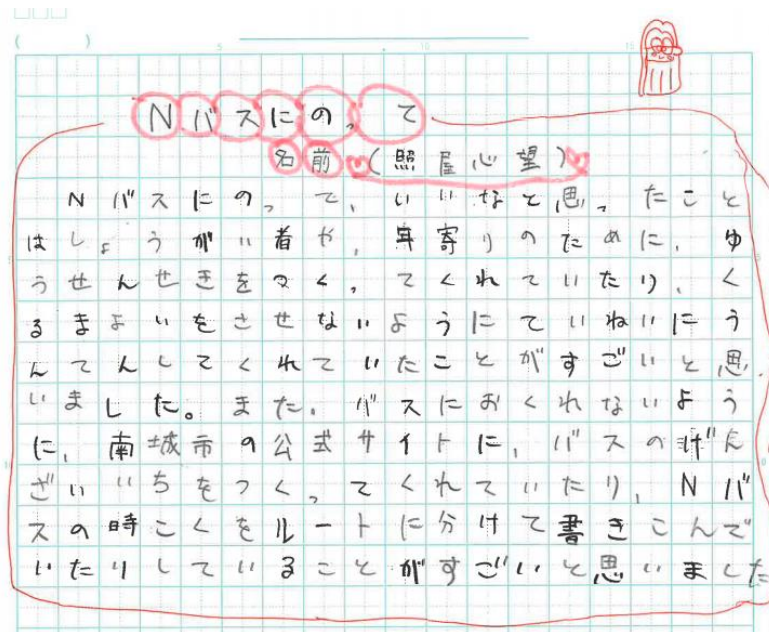
2-3 市内小学校(知念小学校)における取組

②乗車体験

Nバスマップを活用し、児童自身で目的地までどのバスで何時に行くかを調べ、計画を立ててNバスを乗車しました。乗車中には、優先席があることや、Nバスの現在地が分かるバスロケーションシステムがあることで、利便性向上に繋がっていることなど身をもって経験することが出来ました。



▲乗車体験の様子



▲乗車体験後の感想

2.令和6年度の実施内容

2-3 市内小学校(知念小学校)における取組

③Nバス車内飾りつけ(バレンタイン企画)

佐敷小学校で、Nバス車内のクリスマス仕様の飾りつけが好評だったため、横展開として、地域バスへの愛着醸成、利用促進を目的に、Nバス車内をバレンタイン仕様に飾りつけを行いました。

また、沖縄県地元紙(沖縄タイムス社2025年2月13日)に飾り付け風景が掲載されたことにより、子ども達の自己肯定感が高まる取組にも繋げることが出来ました。



▲飾りつけをしたNバス車両

2.令和6年度の実施内容

2-4 事務局等におけるその他取組

⑤先進地視察(北海道札幌市:緑丘小学校・札幌市都市交通課・北海道開発技術センター(dec))

委員(具志堅指導主事)・事務局(2名)で先進地視察を行いました。緑丘小学校では、研究授業・授業後の討議に参加し授業を行いました。本市指導主事が参加することで、先生側の意見と行政側の実施したいことのすり合わせに繋がりました。札幌市都市交通課との意見交換では、MM教育が10年以上続いているのは教育委員会との連携がとれていること。など継続的な取り組み実現に向けて意見交換を行いました。decでは、元小学校校長先生である新保先生と南城市らしいMMを立ち上げていくことについての意見交換を行いました。



▲視察時の風景

3.令和6年度事業のまとめ

3-1 令和6年度事業の評価

①取組の実施状況からみた評価

- 取組については、概ね予定通り実施。
- 小学校での具体的な取組については、児童の意向をもとに進めており、クラスによる取組の熟度差がみられた。
- 知念小学校でも横展開の実施が出来たことにより関係性の構築に繋がった。

②効果(児童の関心の高まり等)からみた評価

- 児童からは、環境面や総合的な視点等から自家用車とNバスを比較した結果、Nバス支持が上がったことを踏まえると、MM教育の成果が反映されていると思われる。
- MM教育の導入ツール作成は、積極的にアイデアを出し合い、取り組んでいたのも、関心は高かったと思われる。
- 児童から成果品を活用する旨の提案書が出されたこともあり、児童が作成した成果品のうち、低学年向け教材として活用が見込める絵本を市内小学校へ配布するために作成中。

③次年度以降の継続性からみた評価

- MM教育導入ツールの作成中。(次年度以降授業等で活用予定)
- モデル校(佐敷小学校)の2クラスでの実施状況を踏まえ、授業計画の見直しを行う必要がある。
- 副読本別冊の策定に向け、教育委員会、学校現場と引き続き連携していく必要がある。